

# 事後評価報告書

総合理工学研究機構運営・評価委員会

平成28年7月21日(木)

研究課題	富士北麓水資源の保全と活用のための水文科学的研究	
研究期間	平成25年度～27年度	
	評価項目	平均点
	1 目標の達成度	2.8
	2 研究成果の活用及び実用化の可能性	2.3
	3 今後の発展性	3.3
	4 総合評点	2.8
<p>富士北麓地域の水収支を明らかにし、地下水の賦存量を推定することを目的とした重要な研究課題に取り組み、レーダー観測による降雨量の高い精度の推定、地下水や湧水の安定同位体比測定による地下流動系の推定等の成果が得られている点は評価される。しかし何といたっても富士山の水文学的規模は大きく、研究成果は未だ緒に着いたばかりである。今後は、研究の目的と達成目標をさらに明確にした上で研究を継続し、貴重な水資源の保全と環境保護のための提言に繋がると共に、富士山とその自然環境に関する一層の研究成果を期待したい。</p>		